

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホームまごころ園	階数	地上3F
建設地	宇治市菟道藪里11番地3	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	150人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年11月 予定	評価の実施日	2011年11月1日
敷地面積	2,892 m ²	作成者	株式会社 ゆう建築設計事務所
建築面積	1,665 m ²	確認日	
延床面積	4,457 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	立地条件をできるだけ配慮し、建物を勾配屋根としたうえで出来るだけ高さを抑制して、周囲の景観に影響の少ない計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	各室とも自然換気・自然光を取り入れられるように平面計画を行った。また、庇・バルコニーを設けることで、直射日光が入ってこないようにした。また、使用建材はすべてFを使用している。	Q2 サービス性能 バリアフリーに配慮し、入居者・利用者が使いやすいよう配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内に緑地を設け、桜を植える事で季節感を楽しめるよう計画した。	Q3 室外環境(敷地外)
LR1 エネルギー	自然採光・換気・通風が可能な平面計画を行った。	LR2 資源・マテリアル 一部にLED照明、節水型衛生機器の採用した。
		LR3 敷地外環境 雨水槽の設置し排水を抑制することで周辺への雨水排水へ配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される